学校支援地域本<u>部事業</u>

自治体名

学校数

岩手県宮古市

小学校26校 中学校11校

震災後の地域の状況・仮設住宅数

海岸沿いの地域は津波により大きく被災しており、住宅が流失全壊、半壊等した住民が仮設住宅や一般借上住宅等への移転、内陸部への移転等を余儀なくされている。 死者 517 名、行方不明者 94 名、住家等被害 9,088 棟震災により校舎が大破した学校…2 校 校庭に仮設住宅が建設された学校…5校 仮設住宅…62 地区 1842 戸

<取組名> 宮古市立茂市小学校学校支援地域本部「子どもは地域の宝、学校はみんなで創る」

自治体単独実施	団体等との連携実施	大学との連携実施	(連携している団体等・大学の名称)
	0		
コーディネーター数	ボランティア延べ人数	年間実施日数(回数)	活動場所
1	440	259	宮古市立茂市小学校
		コーディネーター数 ボランティア延べ人数	○

活動内容 ※該当する内容に〇

学校支援	学習支援	部活動指導	美化·環境整備	登下校指導	学校行事・その他	
	0		0	0	(運動会·作品展示会等)	
学校と地域の	復興学習	防災教育	伝統文化·芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他	
協働学習	0		0		()	
放課後等支援	学習支援	体験·交流活動	遊び・スポーツ	児童クラブとの連携	その他	
	0	0	0		()	
家庭教育·	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他	
保護者支援					()	
地域課題に応じた	高齢者支援·世代間交流	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他	
学習·交流	0				()	

<取組の内容を具体的に記載>

- (1) 地域の方々、祖父母の方々と収穫感謝祭
 - ・学校で育てたさつまいもを使い、薪ストーブで焼き芋・地域でとれたきのこを入れたきのこ汁づくり・餅つき。
 - 試食会での全校合唱の披露
- (2)地域の方々から学ぶ
 - ・社会…茂市の歴史について・図工…閉伊川の石を使った作品づくり・総合的な学習…農作物の栽培指導・茂市久美子さんの講演会等
- (3) 草刈り作業に全員集合!
 - ・年数回の環境整備作業…保護者の人数減少による地域の方々に呼びかけての環境整備作業
- (4) 学校図書館ボランティア「もちもちの木」
 - ・読み聞かせ活動…学期1回程度、保護者並びに卒業生の保護者が協働して実施
- (5) 学校・家庭・地域が「がっちり」
 - ・地域と合同開催運動会「清流オリンピック」…今年で14回目の実施
 - ・「茂市さんさ踊り」の指導…運動会の種目のひとつ、地域の方による連日の指導
 - ・「学習発表会」…地域の方々を招待しての交流、地域の技を学ぶ作品展示会を学習発表会に合わせて実施
 - ・運動会後のPTA主催の反省会、除草作業後の慰労会の実施、職員送別会に地域の方を招待
- (6) 放課後子どもの居場所事業
 - ・地域支援地域本部の方々や地域の方々が、各日3名ずつ安全員として配置





取組の変遷

準備段階

◇被災による課題

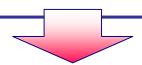
「市民生活の安定と再建」及び「安全で快適な生活環境の実現」を基本的な考え方として、以下の3つの柱を復興の柱に据え、取り組んでいる。

- ①住まいと暮らしの再建(市民の生活再建、雇用の維持・確保、医療・福祉サービスの回復等)
- ②産業·経済復興(水産業·農業·林業·商業等の再生·復興、港湾施設の復旧·整備等)
- ③安全な地域づくり(防潮堤など湾岸保全施設の復旧・整備、公共施設の再配置整備等)

◇住民等からの要望・必要な取組

生活基盤全般についての復興が急がれているが、長引く仮設住宅での生活が続く多くの住民にとっては、将来の展望が見出しにくい現状に対する不安が増大している。

また、校舎に直接被害を受けた学校や、校庭に仮設住宅が建設された学校では、今なお悪化した教育環境の もとでの学習を余儀なくされていることから、施設の再建等、ハード面での復興はもとより、それぞれの学校が置か れている状況応じた、きめ細やかな支援も必要になっている。



体制づくり・取組の実施

◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

・コーディネーターは、地域に在住し、過去に茂市小学校の保護者であった方が担当していることで、学校のニーズや地域のニーズを理解しながら、適切にコーディネートしてくださっている。また、ボランティアは、過去の保護者、児童の祖父母等、学校に近い方が多いが、学校に特に縁が無い方でも、ボランティアの方の人脈で広がりが見られる。

◇取組の充実や課題解決のための工夫

・基本的には、学校の教育活動にニーズがあった内容について、支援を設定していただくことなっているが、本校の場合には、地域教育協議会の方々が、このようにしては?こんなのアイディアもある等、たくさんの意見をお持ちになっているので、協議をしながら毎年新しい取り組みになるよう工夫している。



成果・課題や今後の展望

◇これまでの取組による成果

・「子どもは地域の宝、学校はみんなで創る」のスローガンのもと、学校、家庭、地域が「がっちり」と手を組み、相互の力を合わせて取り組んできた結果、地域の方が学校に来ることに抵抗感が少なくなってきた。校内駅伝大会などでは、学校に孫等が居なくても、応援に駆け付けてくれる等、児童の活躍を楽しみにしている方が多い、また、地域の方々は、「自分たちも児童のために何かできている」という自負心をもっており、そのことが、新たな工夫を求める原動力になっている。今後も、地域の方が学校に抵抗なくおいでいただくことができるように様々な教育活動において、協力を求めて支援をお願いしたい。

◇課題や今後の展望

・学校に積極的においでいただく方が多くなったことは素晴らしいが、全く、学校と関係を持てない、持たない方も、未だ多いように感じる。そのような方々にも学校を身近に感じてもらい、1回でも学校においでいただくようになれば、地域がもっと活性化し、まさに・「子どもは地域の宝、学校はみんなで創る」のスローガンがより一層輝くことになる。地域に発信する広報活動を工夫していきたい。また、PTAの参加について、昨年度同様に強化を図っていく必要がある。